

留学生活

2022年9月14日～2023年8月12日

文藻外語大学 交換留学生 周欣宜

日本に留学した経験がある両親の影響で、小さい頃から度々日本文化に触れたことがあった。元々は日本語に興味を持っていなかったが、高校二年生から日本語学科に入って勉強しながら日本のことを学び、段々興味を持つようになった。日本語を勉強してからもう6年目になり、大学のルームメートの一人は鹿児島出身だったので、日本で生活してみたくなった。

日本に来て一番慣れなかったことは食事のこととお辞儀をすることである。デンプンとデンプンの組み合わせが分からない。例えば、うどんとチャーハンのセットである。デンプンが多すぎて、栄養のバランスが取れていないと思った。最初は日常のお辞儀することに慣れなかった。首筋が痛かったが、今は完全に日本人の礼儀に慣れてしまった。

日本にいる一年間に、志學館大学や他の友達と様々な活動に参加した。JONIKKと天文館でのおはら祭で踊ったり、SOUNDSとクリスマス会で合唱したりした。楽しい思い出だった。

鹿児島県民交流センターで料理教室に参加した時に知り合った、鹿児島大学の台湾、中国の留学生と一緒に京都旅行に行った。また、友達と鹿屋、霧島、桜島での花火大会、指宿の流しそうめん、知覧の知覧特攻平和会館と武家屋敷、美山の陶芸体験など、様々なところに日帰り旅行もした。

この一年間に一番上達したのは日本語を上手に話せるようになったことだ。ストレスが強くなったり、問題を解決する能力も高くなってきた。台湾の友達と一緒に卒業できなかったことなど、残念なことがあった。しかし、日本でしかできない初めての体験することが多く、いい思い出になった。やはり一年前に留学を決めた自分に「ありがとう」と言いたい。日本に留学に来てよかったと思う。

